

2019年2月12日

上場会社名 アネスト岩田株式会社
 コード番号 6381 URL <http://www.anest-iwata.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 壺田 貴弘
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 鷹野 巧一
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 045-591-9344

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	28,695	22.6	3,434	30.0	3,784	18.2	2,434	20.8
2018年3月期第3四半期	23,413	11.3	2,641	0.5	3,202	7.1	2,015	18.2

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 1,904百万円 (25.9%) 2018年3月期第3四半期 2,571百万円 (87.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	58.32	
2018年3月期第3四半期	48.29	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	46,968	33,434	63.2
2018年3月期	47,277	32,777	61.4

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 29,698百万円 2018年3月期 29,006百万円

(注) 企業会計基準第28号「税効果会計に係る会計基準」の一部改正等の公表に伴い遡及適用を行ったため、2018年3月期について、遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		10.00		10.00	20.00
2019年3月期		11.00			
2019年3月期(予想)				10.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	9.7	4,000	4.6	4,400	1.1	2,820	0.4	67.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	41,745,505 株	2018年3月期	41,745,505 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	6,664 株	2018年3月期	6,659 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	41,738,845 株	2018年3月期3Q	41,738,885 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(セグメント情報)	P8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、アメリカを主として総じて堅調に推移いたしました。一方で、米中貿易摩擦やヨーロッパでの政情不安など、依然として不透明感も継続しております。日本経済におきましては、円高懸念はあるものの、雇用環境や個人消費、好調な企業業績などに支えられ、回復基調で推移いたしました。

そのような経営環境の中、当社グループは現中期経営計画の達成に向けて「真のグローバルワン・エクセレントメーカ」を目指して事業活動を続けてまいりましたが、現状を踏まえて更なる未来を予測し、次期中期経営計画の策定にも着手いたしました。

圧縮機製品では、底堅い設備投資需要に支えられ、日本におけるオイルフリースクロールコンプレッサの販売が好調に推移いたしました。インド、ブラジルなどの新興国を主とした医療向け圧縮機ユニットや付帯機器も継続して伸長しております。電動バスや鉄道車両等の公共交通機関向け車両搭載用圧縮機ユニットの販売は、中国以外のエリアにおいても好調に推移し、引き続き伸長しております。また、当年度より連結対象となりました中国のスクリー圧縮機製造・販売会社である上海斯可絡圧縮機有限公司や、台湾の小形圧縮機製造・販売子会社であるANEST IWATA SPARMAX CO., LTD.の業績も大きく貢献いたしました。真空機器製品では、日本国内の販路活用による、一般工業市場向けオイルフリースクロール真空ポンプの販売が増加しましたが、一方で、アメリカ、ヨーロッパにおける装置メーカやOEM先の需要減少による苦戦が継続しております。塗装機器製品では、国内外を問わず、特に自動車補修塗料メーカ各社様とのコラボレーションを継続しており、特定塗料に対する認証取得活動の他、専用スプレーガンを開発・販売することで市場の活性化をすすめております。特に日本では、自動車補修市場に向けてカラークリア塗装用の新型スプレーガンを上市し好調な滑り出しとなりました。工業塗装市場に関しては、世界各国での活動を見直す中で、ターゲットの選定や、各地域に見合った活動の準備をすすめてまいりました。塗装機器製品に含まれ、塗料以外の液体を扱う液圧機器製品では、製造工程や物流・搬送システムに使用される接着剤塗布専用機器・装置ならびに日本を主として、製パン・製菓といった食液塗布専用のスプレーガン、液体供給機器などの拡販活動を継続しております。塗装設備製品では、北米の自動車部品製造工場や、中国の自動車、電気製品製造工場への塗装設備納入により、伸長しました。引き続き、設備更新や新規導入に向けて各国の試し塗り施設を有効に活用し、今期は元より来期以降の物件も受注すべく活動を行っております。また、日本では、第1回高機能塗料展に出展し、微細な箇所へ100%の塗着を実現するEAコーティング技術や次世代を見据えたオイルフリースクロール圧縮機などのご紹介により、非常に多くのお客様によるご来場、ご好評をいただきました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高28,695百万円（前年同四半期連結累計期間対比22.6%増）、営業利益3,434百万円（同30.0%増）、経常利益3,784百万円（同18.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,434百万円（同20.8%増）となりました。

①セグメントの業績

セグメントの業績については、「2. 四半期連結財務諸表-(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」の（セグメント情報等）に記載のため省略しております。

②製品別売上高

(単位：千円)

製品区分	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		前年同四半期比増減	
	2017年4月1日～ 2017年12月31日		2018年4月1日～ 2018年12月31日		増減額	増減率(%)
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)		
圧縮機	11,737,447	50.1	15,760,103	54.9	4,022,656	34.3
真空機器	1,349,937	5.8	1,344,414	4.7	△5,523	△0.4
塗装機器	8,818,380	37.7	9,597,153	33.4	778,773	8.8
塗装設備	1,507,928	6.4	1,994,047	7.0	486,119	32.2
計	23,413,694	100.0	28,695,718	100.0	5,282,024	22.6

(2) 財政状態に関する説明

資産は、流動資産が25,321百万円（前連結会計年度比0.6%減）となりました。これは主に、「受取手形及び売掛金」が469百万円減少したことなどによるものです。固定資産は21,646百万円（同0.7%減）となりました。これは主に、「投資有価証券」が425百万円減少したことなどによるものです。その結果、総資産は46,968百万円（同0.7%減）となりました。

負債は、流動負債が9,449百万円（同12.3%減）となりました。これは主に、「短期借入金」（一年以内返済長期借入金を含む）が343百万円減少したことなどによるものです。固定負債は、4,084百万円（同9.8%増）となりました。これは主に、「その他」に含まれるリース債務（固定）が増加したことなどによるものです。その結果、負債合計は13,534百万円（同6.7%減）となりました。

純資産は、33,434百万円（同2.0%増）となりました。また、純資産より非支配株主持分を除いた自己資本は29,698百万円となり自己資本比率は前連結会計年度末の61.4%から1.8ポイント増加し63.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の連結業績予想および配当予想は、2018年5月10日に公表しました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,225,287	8,959,036
受取手形及び売掛金	7,624,339	7,154,953
有価証券	500,000	500,000
商品及び製品	3,876,983	4,220,840
仕掛品	918,367	958,176
原材料及び貯蔵品	2,138,244	2,397,780
その他	1,373,957	1,359,756
貸倒引当金	△176,820	△228,728
流動資産合計	25,480,360	25,321,815
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,389,865	5,350,538
その他（純額）	6,648,729	6,910,675
有形固定資産合計	12,038,594	12,261,213
無形固定資産		
のれん	1,588,301	1,832,166
その他	1,946,621	1,722,024
無形固定資産合計	3,534,922	3,554,190
投資その他の資産		
投資有価証券	4,617,239	4,191,553
その他	1,617,577	1,650,427
貸倒引当金	△11,095	△10,725
投資その他の資産合計	6,223,722	5,831,254
固定資産合計	21,797,240	21,646,658
資産合計	47,277,600	46,968,474

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,769,153	4,646,849
短期借入金	1,767,728	1,424,114
未払法人税等	604,634	348,629
賞与引当金	628,046	363,353
その他の引当金	318,903	292,109
その他	2,690,533	2,374,179
流動負債合計	10,778,999	9,449,235
固定負債		
退職給付に係る負債	2,401,451	2,309,052
その他	1,319,410	1,775,725
固定負債合計	3,720,861	4,084,777
負債合計	14,499,860	13,534,013
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,354,353	3,354,353
資本剰余金	1,324,472	1,117,838
利益剰余金	23,307,605	24,865,317
自己株式	△5,387	△5,393
株主資本合計	27,981,043	29,332,115
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	863,484	483,303
為替換算調整勘定	416,156	127,957
退職給付に係る調整累計額	△254,633	△244,451
その他の包括利益累計額合計	1,025,007	366,809
非支配株主持分	3,771,688	3,735,535
純資産合計	32,777,739	33,434,460
負債純資産合計	47,277,600	46,968,474

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	23,413,694	28,695,718
売上原価	13,021,089	16,197,415
売上総利益	10,392,604	12,498,303
販売費及び一般管理費	7,750,691	9,064,181
営業利益	2,641,913	3,434,121
営業外収益		
受取利息及び配当金	97,938	103,293
持分法による投資利益	157,180	210,022
為替差益	243,866	—
その他	103,172	124,322
営業外収益合計	602,157	437,638
営業外費用		
支払利息	14,792	55,709
為替差損	—	21,298
その他	26,801	9,954
営業外費用合計	41,594	86,961
経常利益	3,202,476	3,784,798
特別利益		
固定資産売却益	1,511	8,270
段階取得に係る差益	—	2,697
特別利益合計	1,511	10,967
特別損失		
固定資産除売却損	13,157	29,406
解体撤去費用	29,249	10,521
子会社整理損	97,592	4,096
特別損失合計	139,998	44,024
税金等調整前四半期純利益	3,063,989	3,751,741
法人税、住民税及び事業税	846,681	977,073
法人税等調整額	88,730	58,210
法人税等合計	935,411	1,035,284
四半期純利益	2,128,577	2,716,456
非支配株主に帰属する四半期純利益	113,213	282,229
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,015,363	2,434,227

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	2,128,577	2,716,456
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	332,630	△380,180
為替換算調整勘定	145,420	△455,369
退職給付に係る調整額	1,441	10,181
持分法適用会社に対する持分相当額	△36,552	13,254
その他の包括利益合計	442,940	△812,113
四半期包括利益	2,571,517	1,904,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,406,310	1,776,029
非支配株主に係る四半期包括利益	165,207	128,313

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,612,299	2,812,556	4,659,310	20,084,166	3,329,528	23,413,694
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,560,293	191,271	989,032	4,740,597	111,556	4,852,153
計	16,172,593	3,003,828	5,648,342	24,824,763	3,441,084	28,265,848
セグメント利益	2,773,638	220,187	455,049	3,448,875	190,608	3,639,484

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメリカ、メキシコ、ブラジル、オーストラリア、ロシア、南アフリカ及びアラブ首長国連邦の現地法人の事業活動です。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,448,875
「その他」の区分の利益	190,608
セグメント間取引消去	△116,230
全社費用(注)	△881,340
四半期連結損益計算書の営業利益	2,641,913

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,747,846	3,364,192	8,900,233	25,012,273	3,683,445	28,695,718
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,146,576	190,911	1,276,678	5,614,165	122,836	5,737,002
計	16,894,423	3,555,104	10,176,911	30,626,439	3,806,281	34,432,720
セグメント利益	2,958,313	204,641	906,561	4,069,516	156,049	4,225,565

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメリカ、メキシコ、ブラジル、オーストラリア、ロシア、南アフリカ及びアラブ首長国連邦の現地法人の事業活動です。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	4,069,516
「その他」の区分の利益	156,049
セグメント間取引消去	54,373
全社費用(注)	△845,817
四半期連結損益計算書の営業利益	3,434,121

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。